

基本理念 職員アンケート結果

1 アンケート調査趣旨

第5次長期総合計画の基本理念について、清瀬市役所全職員を対象に下記のとおりアンケート調査を行いました。

2 アンケート実施期間

令和7年2月6日から令和7年2月13日まで

3 回答数

242人

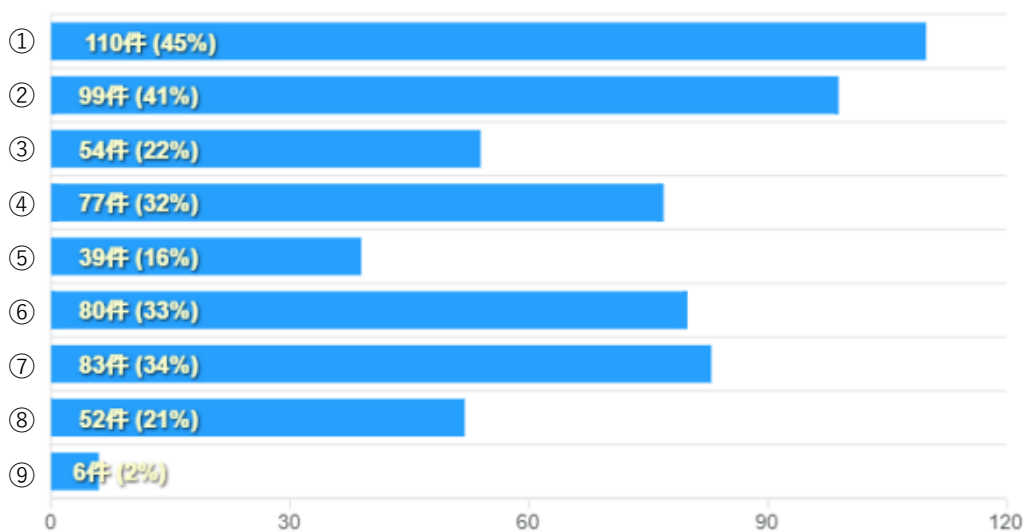
4 質問事項及び回答

※次ページから

●質問1 基本理念についてあなたの考えに近いものを次から最大3つまで選んでください。

- ①「清瀬」や「きよせ」という言葉を入れるのが良いと思う
- ②「緑」や「みどり」のような自然に纏わる言葉を入れるのが良いと思う
- ③「創る」「創り出す」「切り拓く」のような能動的な言葉を入れるのが良いと思う
- ④「共に」「協働」「繋がる」のような市民協働をイメージできる言葉を入れるのが良いと思う
- ⑤「変革」「改革」のような今後の10年に向けて変化・進化していくことが感じられる言葉を入れるのが良いと思う
- ⑥「次世代」「未来」のような言葉を入れるのが良いと思う
- ⑦「笑顔」「しあわせ」「希望」のような明るく前向きなイメージの言葉を入れるのが良いと思う
- ⑧現行の「手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬」のまま変えない方が良いと思う
- ⑨その他

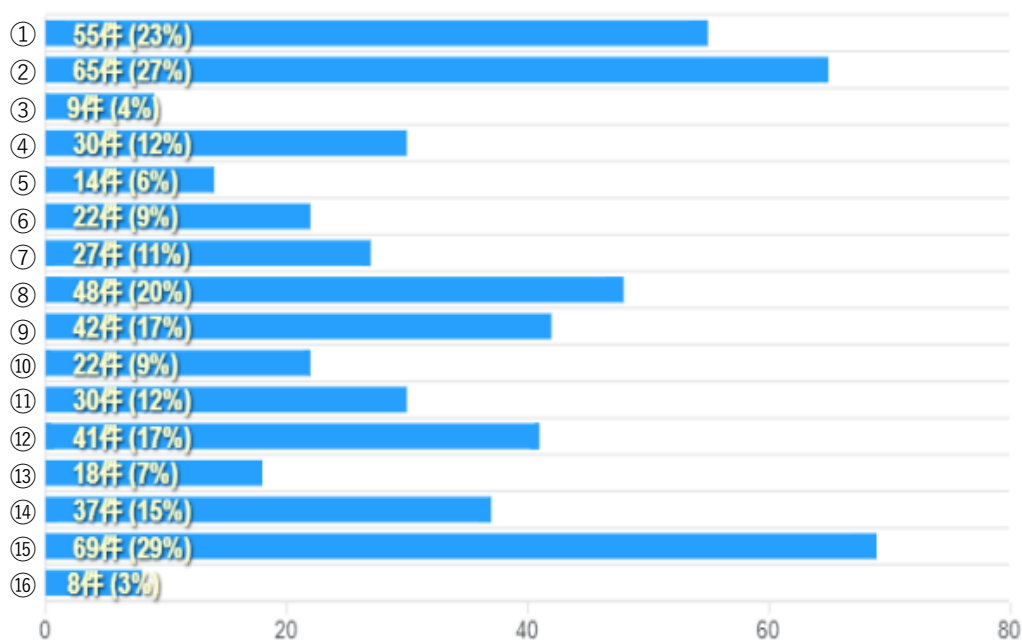
回答



●質問2 次の基本理念案のうち、あなたのイメージに近いものを最大3つまで選んでください。

- ①きよせをつくる きよせでつくる（※今後50年の新たな清瀬を清瀬に関わる人たちで作っていくというイメージによるもの）
- ②人と心と緑をつなぎ 次の時代の清瀬をひらく
- ③きよせをそらせる（※名誉市民で彫刻家の澄川喜一さん「そりのあるかたち」というテーマから、『そり』と『人口減少などの問題によりまちの活力の低下が懸念される状況から回復していくイメージ』を掛けたもの）
- ④未来を紡ぎ 希望を継承する
- ⑤強みを守る 未来を創る
- ⑥しあわせはここにある 安らぎのまち 清瀬
- ⑦しあわせはここにある 明日への希望があふれるまち 清瀬
- ⑧しあわせはここにある 笑顔があふれるまち 清瀬
- ⑨夢をかたちに 未来を紡ぐ 希望の清瀬
- ⑩人が語り 緑を守るまち 一人一人の願いと未来を切り拓く きよせ
- ⑪ひまわりのような笑顔で 人と自然がつながり 生きがいのあるまち きよせ
- ⑫みどりの中に 子どもの笑顔 きよせの未来
- ⑬強みを守る 未来を創る 緑と共に
- ⑭人と心と自然をつなぎ 一緒にひらく 未来の〇〇の街 清瀬
- ⑮手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬（現行）
- ⑯その他

回答



●質問3 基本理念について、あなたの考えを自由に記述してください。

回 答

(※基本理念案のような回答には参考として、赤字にしています。また、「特になし」の回答については掲載をしていません。)

- ・清瀬に限ったことではないが、今後人口減少等により、限られた人材・資源のなかでサービスを継続する必要が出てくる。そのため、人材・資源を共有する必要があることから「みんなで作っていき」というところを重視したい。"
 - ・本市が持つ首都圏近郊の貴重な「緑」をまちづくりの要素として、行政・市民・企業等の「多様な主体」の関わりを基本理念で表現することで、行政主導のまちづくり→地域でつくるまちづくりへの転換を推進し、持続可能な行政経営に繋げることができると考えます。
 - ・人と人のつながりが感じられる印象のものが良い
 - ・清瀬の独自性をアピールできれば良いと思う
 - ・明るく、希望のある文字が並ぶ基本理念で、職員がこの基本理念を見て、業務に取り組む意欲が湧くようなものになれば良いと思います。
 - ・全国的な物価高騰や立て続けに起こる災害など、不安や心配を掻き立てる出来事が多いため、明るさをイメージさせる理念が良いと思います。
 - ・次世代を担うのは今の子どもたちだと思うので、小学生の子どもにもわかりやすい基本理念が良いと思います。
 - ・清瀬市ならではの理念に出来たら良いと思う。
 - ・手をつなぎ心をつむぐみどりの清瀬が良いと思います
 - ・何気ない日常のしあわせが身近にあることが尊いということを、押し付けではなく気づいていただくようなキャッチコピーが良いと思います。
 - ・基本理念は現行のまま、将来像や基本目標を見直しをしても、「手をつなぎ心をつむぐみどりの清瀬」につながるようなものになればいいと思う。
 - ・当たり前ではあるが、基本理念は今後10年間の長期総合計画の軸であることから、10年後も見据えたうえで、かつ清瀬らしさを踏まえた理念が良いと思う。
 - ・意見集約ご苦労様です。清瀬らしさを基本理念に反映できると良いと思います
 - ・清瀬市らしさを残しつつ、市として改革をしていくという意味が伝わるような基本理念が良いと思う。
 - ・目にした時、聞いた時、印象に残るようなもの
 - ・1.つくる、つながる、えがおの清瀬
 - 2.変わるまち、変わらぬ想い、未来のきよせ
 - 3.きよせの誇り、まちのひかり。
 - 4.清瀬、新しい風がふくまち
 - 5.清瀬発、新時代への一步
- シンプルで誰にでも伝わりやすく、こどもでも覚えられるようなもの。また、清瀬市独自

の特色、10年先を見据えたものとなるよう問いかけを考案したうえで、ChatGPTも使用しました。

・子育て世代を中心にあらゆる世代に長く住み続けたいと思っていただけるよう、「選ばれるまち」というワードを基本理念のほうにも入れても良いと考える。

・ **みんなが集える街きよせ**

・清瀬らしさを重視した自然や風土を活かしたものが良いと思う

・みどり(自然を残す)も大切にしていきたいです。

・清瀬らしさを残しつつ、今後、変えていかなければならないこともある。どのようにしたらよいかは、センスがないので、具体的な基本理念は思いつきませんが、変革、協働、みどりなどのワードが入るイメージです。

・清瀬らしさや明るい未来に向かっていくイメージが持てる理念だといっています。

・次代に引き継いでいけるようなものが良いと思う。

・少しでも明るい未来を想起させるものが良いと考えたため

・今までは、清瀬らしさ、今の清瀬を全面的に出していた印象にあります。今後はそれに加え、将来の清瀬を想像できるような基本理念だとより良く感じます。

・感覚的に基本理念を選んだが、第5次長期総合計画に掲載される将来像をはじめ内容と整合性をとるべきであるかと思うので、仮段階でも内容が少しでもわかればより具体的に示せたと思うところ。上記を組み合わせってみました→「**人と心と自然をつなぎ 未来を創るまち きよせ**」

・未来創造という考え方、方向性で考えるのが良いと思います。

・これからも高齢化が進んでいく中で、それぞれが手をつなぎ協力して心を合わせてみどり豊かな清瀬のまちを維持し、未来へつないでいくイメージが沸くので今の案はとても良いと感じました。

・明るい印象のものがよく、市民にとって受け入れやすいポジティブなものがいいと思います。行税主体ではなく、ともに創りあげるイメージがあると共感しやすいと思いました。

・清瀬と聞いて想像ができるワードを用いながら未来を見据えているところを表現できればと思います。

・明るい印象のものがいいと感じる

・明るい光に向かって、一人一人が笑顔であるイメージを思い浮かべることが出来れば良いかと思う。

・人と人とのつながりが濃い人情味が残るまちでもあるので、明るい印象かつ人とのつながりが感じられるシンプルな構成の基本理念が良いかと思います。

・説明がないと分かりにくくなるようなものより、何となくイメージがつかめるようなものが良いと思います。

・都内でありながら自然が豊かなところが清瀬の強みであり、行政主体ではなく市民協働と一緒に市を創り歩んでいけるものがいいと思う。

・現行の言葉を大きく変更しない方が良いと思っている

・明るい印象の、穏やかなものがいいです

・清瀬らしさを大切にしたいうえで、変えるべきところは変える、守るべきところは守るとい

う前向きな姿勢が伝わるものが多いと思います。具体的すぎてしまうかもしれませんが、個人的には「ひまわり」が入ると特徴的かなと思いました。

・現行の「手をつなぎ」というのが人と人とをつないでいるようなあたたかさを感じるのも、そのようなあたたかみがあるフレーズと、明るい前向きなフレーズもあるといいなと思う。

・多様性を認めあい、様々な価値観の人がまちを形づくっていくことを目指せるような理念がよい。

・市民が主体となって未来を創造する考え方がよいと思う

・多様性の時代なので、多様な人たちがまとまったりする必要がなくあるがままでいられるような理念がよいと思う

・発展の余地がある清瀬で、「清瀬に行きたい、住みたい、住み続けたい」と思われるようなまちを今後実現することを掲げた基本理念が良いと思います。

・清瀬の強みを活かしつつ、さらなる発展を遂げていくイメージが魅力的だと考えます。"

・財源としても可能目標であり、次世代が希望を描ける目標が良い。

・基本理念は様々な場面で活用する者であるため、小学生でも理解できるわかりやすい内容が望ましい。また、具体化しすぎると一部の人にしか受け入れずらいものとなる可能性があるため、これから市として作っていきたいイメージが望ましい。"

・「しあわせはここにある」というワードはとても分かりやすくインパクトがある素晴らしい言葉であると思うのですが、それは市のキャッチコピーとしてPRするべきと思います。なので、基本理念には、他に清瀬らしい言葉を使用した方がよいと思います。

・子どもたちが笑顔で安心して清瀬市で暮らせることで社会全体が希望を持てる社会になると考えております。そのため、明るい印象で、清瀬市での生活に希望をもてる基本理念が良いです。"

・緑が多く、自然豊かな清瀬で子どもたちが自分らしさを大事にのびのびと成長できる清瀬であってほしい。

・「持続可能」や「循環」といったワードを入れたい

・自然と心豊かな清瀬らしい姿を大切にしたい。

・現在、清瀬市に在住している市民に対しては、これからも清瀬市に住みたいと思ってもらい、シビックプライドを高めるような言葉が求められると考えております。一方で、清瀬について何も知らない人や、これから転居等を検討している人に対しては、明確に市の目指す方向性が伝わる言葉を用いた方がよいのではないかと考えます。

・清瀬の良いところは残しつつ、未来に向けて新たな清瀬の良さを創出していけるような基本理念になると良いと思いました。

・これからのまち創りは、少子高齢化、人口減少等情勢が大きく変化しているので、これまでと同じことをしては駄目だが、理念は変えなくてもよいと思っています。この理念を守るためにまち創りの手法を変えていけばよいと考えます。

・「みどり」「つなぐ、つむぐ」「こころ」「未来」が入っていると良いと思う。

・ずっと住み続けたいと思えるような前向きな印象のものが良いと思います。

・基本理念とは組織が掲げる価値観や理想であるわけですから、ことさらにキャッチーさや流行を求める必要はなく、また詩的な表現も必要ないと思います。

今ここで議論しているのは標語（スローガン）ではないか？と思います。あくまで純粋に基本理念を問われたら、私は『100年続く行政を目指して、財政の健全化とサービスの公平を目指す』といった内容を望みます。標語（スローガン）についての議論であれば、その時々
の流行に合わせて都度見直していく方が良いでしょうから、Q4で例示されたどれであっても、人々に浸透して親しまれる努力をしていけば愛されると思います。"

・何度も述べさせていただいていますが、「緑を守る」だけでそれが長期計画に主たる施策とは言えないと思います。「自治体存続」イコール「人を呼び込む」にはきちっとした未来の姿が必要ではないでしょうか。

・コンパクトにまとまっているほうが印象に残り、覚えてもらいやすいと考えます。

・つくる（創造）、つなぐ（繋ぐ）、未来（希望）に関するワードを入れたいです。

・市民憲章をもとに考えていくのであれば、緑のまちであることを基軸に、幸せの要素や未来を拓いていくような要素があると良いのではないかと思う。

・「心持ち」や「行動指針」であれば、大目標（目指す緑に満ちた幸せ（未来）が溢れるまち等）を設定し、それに向けて市民や職員がどのようにアプローチをしていくか（手を取り合っ
て等）を明確にした理念が良いと思う。

・いずれにしても、市民と職員の両者がともに目指していけるような理念であればあるほど良いと考える。"

・市民の安全・健幸・緑あふれる調和と明るい印象のものがよい

・「未来」というと遠く感じるので、今に続いたこれからの言葉が入ると次世代につながる施策の基盤にもなると思いました。

・「清瀬らしさ」「清瀬ってこういう街だよ」という市民目線の清瀬への感情を表現した理念とすることで、市民に寄り添った市政への期待が高まると考えます。約7万人の市民、それぞれ清瀬市への気持ちはあると思いますが、その中でもなるべく多くの市民が清瀬らしいねと思える基本理念が良いと思います。

・今住んでいる清瀬市民は今までの清瀬を好んで住んでいる人達だと思うので、変に革新や創造のように今の清瀬じゃ足りない、不足しているようなマイナスな印象になりかねない言葉より今の清瀬のままより尖らせていく方向が個人的にはわくわくします。

・そもそも基本理念がどのようなものなのか、周知をした方が良くと思います。

職員間でも「基本理念」のとらえ方が異なりますし、市民に基本理念があることが周知されているかも不明な部分が大きいです。

・今後の施策が、あらたに考えた基本理念に基づいて展開し、職員や市民がその理念を意識して考えられれば良いと思います。

・市民の意見（アンケート等の結果）をふまえつつ、市の推し進めたい方向性を盛り込むのが良いと思う。

・具体的な案はありませんが、若い世代が基本理念に魅力を感じる事が重要かと思
います。

・清瀬らしさを残しつつ、明るく希望の持てる内容のものが良いと思う。例えば、清瀬らしい単語は「緑」、明るく希望の持てる単語は「笑顔」や「未来」があると思う。

・今ある緑、農ある風景を大切にしながら、市民がこの町に住み続けたいような未来の

街を市民と一緒に創っていく感じのイメージ。

- ・個人的には清瀬またはきよせは入れたほうがいいと思う。また、明るい印象で前向きなイメージができるものが良いと思う。
- ・今ある幸せにも気づくことができるフレーズを入れたい。
- ・候補の中からの選定でよいと思います。
- ・子どもから大人まで、自然と笑みが生まれ、未来を創造できるような基本理念に繋がれば良いなと思います。
- ・東京都の中では上位の物を取り上げるのではなく、これからのどういう街になっていくのかを考えた基本理念が良いと思った。
- ・今の現状を表すのか、これからを表現していくのか。市民としては後者の先を示した方が、行政に興味を持ってもらえるのではと考えた。
- ・市職員だけでなく、市民と共にという気持ちを感じられるような理念が良いと思います。
- ・基本理念は市の今後の方向性をひとことであらわすキャッチコピーのようなものともとらえられるため、ありきたりな言葉でわかりやすく表すのもいいですが、多少奇抜でも他の興味を惹きつける言葉で表すのもありだと思います。
- ・リズム感のいい文言が市民にもわかりやすいと思います。
- ・前半に清瀬の緑や安心感について、後半に未来のことについて半分ずつ配置するようなイメージです。
- ・自然や笑顔を守ることだけでは、この不況の中、人々が求める魅力を発信できないと考えます。
- ・現行のままで良いと思います。
- ・清瀬（きよせ）をいれて誰しもが覚えやすくかつシンプルなフレーズが良いと思う。
- ・市民の方が関わっていくようなイメージが持てるような言葉があると良いと思います。
- ・希望というワードを入れたい。
- ・未来のある、安心して暮せる街が良い。
- ・個人的には現行の基本理念でも良いと思っている。
- ・抽象的なものになりやすいと思いますが、様々な部署で計画を作成する際に異なる見解が出ないようにするためにも誰が見てもわかりやすいもので解釈の違いが出にくいのが良いと思います。
- ・基本理念は未来が明るい印象のようなイメージが良いと思います。基本理念で住むところを決める人はいないと思うので、変化球よりもシンプルの方が良いと思います。
- ・知人や友人との会話の中でも「清瀬って、名称（漢字）は良いよね。」という会話を良く聞きます。自分でもその通りだと思うので、「清瀬」が入っていた方が良いと思います。"
- ・基本理念は、必要な内容は盛り込みつつ、簡潔でわかりやすい表現を使うと、より多くの方に方針を理解していただきやすいのではないかと思います。
- ・文言を聞いたときに、「きよせ」を思い描けるような基本理念が良いと考えます。
- ・清瀬らしさを重要視してほしいなと思います
- ・定めたからにはしっかりとこれを尊重して事業展開をするべきだし、逆に継続的に実行していけないものを書くべきではない。

- ・改革や創造ももちろん大切な未来へのイメージですが、緑や自然にまつわる言葉が入ると今の清瀬市とかけ離れたものにならずギャップの少ない理念になると思います。
- ・清瀬にずっと住み続けている市民の立場からしても「緑」（自然豊か）のイメージは今後もち続けていければと思います。
- ・各論は後にきちんと詰めることにして、基本理念はイメージを共有しやすい言葉がよいと思います。
- ・「子どもの笑顔」だと子ども・子育て計画に寄ったイメージになるため、「みんなの笑顔」の方がより良いのではと考えました。（社会全体で子育てを応援するという意味では良いかもしれませんが。）
- ・「市民が主体である」ということが明示されていることが良いと考えます。
- ・清瀬の特徴と明るい印象が持てるワードを入れたほうが良いと思う
- ・清瀬らしさ（緑が多い、都市農業が盛ん、など）を重視しながら、清瀬の良さを忘れない基本理念が良いと思います。
- ・清瀬市は都心に比較的近く通勤もしやすいのに、自然が多く残っていて子育てしやすい街だと思う。
- ・都心に住んでいる若者たちに魅力ある街という印象のものが良い。
- ・自然が多くあることは清瀬市の強みであるため、みどりや自然というワードを入れると良いと思います。
- ・人と緑の繋がり、明るい印象のものが良いと思う。
- ・市民の皆さんにわかりやすく伝わり、言葉で言いやすい基本理念であってほしいと思う
- ・清瀬らしさを重要視したい
- ・基本的には多摩地域の都市なので、強みとして、自然やのびのびと子育てのようなイメージと都市と近いことをアピールできれば良いと思う
- ・現行のものでもし足りないようであれば「みどり」「子ども」というワードを入れたいです。
- ・ **清瀬はつくる 清瀬でつくる**
- ・来年度、創造的なイベントが多く模様されるので、明るい印象のものもいいかと思いますが、落ち着いたこれまでのワードの理念でよいと思います。
- ・市民協働のイメージが湧くもの、未来へ続くイメージがあるもの、明るいイメージがあるものが良いと思う。
- ・前向きなイメージがあるものがいいのではないかと思います。
- ・前向きな印象で、市民とともに作っていくという印象を与えるのが良いと思います
- ・「清瀬市に誇りを持ち、よりを良くするために貢献しようとする自負心」が次代の創造につながるような形が清瀬らしさと感じました。
- ・皆でまちづくりをし、環境を守り、次の未来につながっていく明るいイメージを持ったものが良いと思います。
- ・個人的には人とのつながりを大切にするイメージで、自然の豊かさや暮らしの安心感があるものがよいと思います。
- ・明るい印象のものがいいと思う。

- ・老若男女全ての市民になじみのあるフレーズがいいと思います。
- ・あまり長くなりすぎると、返って印象に残りづらいので、20文字程度の歯切れのよい表現とし、質問2のどれかのフレーズを入れてもらえると嬉しいです。"
- ・少子高齢化や人口減少が進む社会にあるので、「未来」「希望」のような前進する印象の言葉が良いと思いました。
- ・希望をもって市民みんなが一体となって進んでいけるのが良いと思います。
- ・大げさな文句ではなく、地に足がついた清瀬らしい理念がよいと思う。
- ・力強く独自性のある清瀬になって欲しい。
- ・清瀬の魅力を伝える言葉「自然」「地域の力」等があると良いと考えました。
- ・環境配慮型行政を推し進めるテーマが良いと思います。
- ・人と人との関りを大切にし、みどり豊かな清瀬市らしいものがないと思います。
- ・交通に便利でありながら自然豊かな清瀬市の良いところをもっとアピールして良いと思います
- ・現行の将来像に「健幸でともに支え合うまち」とあるが「健幸でともに支え合う」は、すべての市民対象ワードとなり健康と幸福の願いが込められて良いと思います。
- ・一部の意向ではなく、全体の意向を汲んだものにしてほしいです。
- ・現行のままでよい
- ・理念は抽象的でかつ柔らかい表現が良いと思います。また、漢字は少ない方がよいと思います。
- ・清瀬は今後もみどり（自然）が多いまちであることは変わりませんが、少子高齢化が進む中、畑が宅地化されていくとは避けられません。そのような状況下で「みどり」「自然」といった言葉を引き続き使うのか、今後も自然を残していくという強いメッセージとして使うのか整理が必要かと思います。
- ・ひまわりは一つのイベントであり、=市のイメージ=理念は飛躍しているかと思います。武蔵村山のひまわりイベントも市有地でなかったことから現在は行っていません。
- ・子供たちにも親しみが持てるような馴染みのある理念が良いと思います。
- ・見出し・キャッチコピー的な位置付けだと思うので、まちづくりで重要にしたい・大切にしたい事柄について、端的にわかりやすく（柔らかく）表現した言葉を掲げるのが良いと思う。
- ・暮らしやすい市、住みやすい市が理想だと思う。
- ・癒しなどやわらかイメージの言葉をいれた方がよい。
- ・自然というキーワードと安らぎや癒しと言ったワードも合わせて使っていただければよいと思います。
- ・清瀬らしさを重視したいため、緑豊かなイメージの文言を入れるといいと思う。
- 長いスローガンは響きにくいので、端的なものがよいと思います。
- ・「手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬」現行の基本理念もとても清瀬まちにフィットしているので、こちらも残しつつ、更なる新しいサブ基本理念を追加するのもよいかと思います。
- ・心地よい、優しい言葉を使う方がいい気がします

- ・ 現行のイメージを浸透させたい。
- ・ シンプルでわかりやすいものが多いと思います。
- ・ 分かりやすい言葉で清瀬らしさの印象が残る表現が良いと思います。
- ・ 「③のきよせをそらせる」について、この理念は一見して意味が直接伝わるものではないかもしれませんが、だからこそ強いインパクトを持つと考えております。そして、市への移住を検討する方々の心に残るのではないかと思います。
- ・ まちづくりの主役が市民であることが伝わるフレーズ。
- ・ 『私たちの町きよせを自分たちの手で』『私たち町清瀬を強く優しいきよせへ』等を入れ、自分事として響くフレーズ。
- ・ ありきたりだが明るく良いイメージに感じる言葉が良い
- ・ 「子ども」というワードが入ると明るい未来を連想でき、自然豊かで子育てがしやすい街という印象を持つことができるため、反映されると嬉しいです。
- ・ 清瀬らしいみどりもよいが一旦そこから考え・発想を離してみてもよいかと考えます
- ・ 市民憲章で感じた「明るさ」や次代に向けて「創造すること」を盛り込んだ基本理念が良いと考えます。
- ・ 協働等、各主体がそれぞれ取り組むイメージがあるもの良いと思う
- ・ まちづくりの基本的な考えが分かるように、少し具体的にしてほしいと思いました。
- ・ 市民の皆様がどのようにかんがえているのか知りたいです
- ・ 「暮らしやすいまち」といワードを入れたい・・・にぎわいを創出し選ばれるまちを目指し、誰もが暮らしやすい！暮らしたい！と思われるまちというストレートな言葉も良いと思います。
- ・ 未来を創造（想像）するようなものにしたい
- ・ SDGS の観点に則った、中長期的な目線で発展を目指していく基本理念が良いと思います。短期的に急いで結果を残すのではなく、市の独自性を時間をかけて確実に育てていくそんなもの良いと思います。
- ・ 個人的には清瀬という言葉はあってもよいと思います。また、明るい印象を与えるものの方が良いと思います。
- ・ キャッチフレーズに きよせ の頭文字をいれたらどうですか
- ・ きよせ という言葉は入れたいです。
- ・ 少し長くなってもよいのではないかと思います。職員の皆さんの中でのなるべく多い意見でかつ審議会委員の皆様も納得するようなものになるといいと思います。"
- ・ 自然豊かな面を強調するものが多いと思う
- ・ 自然の豊かさを印象付ける、「緑」「みどり」という言葉を入れるのが良いと感じました。
- ・ 子育て世代に訴えるような魅力があるといいと思う。若い人に選ばれる街になってほしい。
- ・ 商業や経済の面ではアピールできるポイントがなく、今後もあるとは思えないので、外部&市民に訴える点としては地域の安全性や親和性をアピールした方がよいと思います。
- ・ 「安全」や「平和」は、心が痛くなる事件が多い現在では最も大切な事柄です。だからこそ、暮らして行く&生きていく基本として掲げるには良いと思います。

- ・明るい未来を基本に、日々の暮らしが前向きに進むイメージ
- ・明るく端的でテンポの良いものが良いと思う。
- ・現行の基本理念の継続が良いと思います。
- ・ひまわりやニンジン、など清瀬らしい文言を入れたらアピール度が上がって良いと思います。
- ・若い世代の人と高齢者が一緒にこれからの清瀬を作っていくというイメージを出せたらいいと思います。
- ・今後の市政に向け、次世代の市民が前向きに捉えられる方向性を示すことで、一体感をもって市政運営に諮ることが望ましいと考える。
- ・「多様性」を認めるワードもあった方がいいかなと思います。「多様性」には、LGBT だけでなく、国際性、障害者などを含まれます。
- ・前向きな気持ちを感じられる基本理念がよいと思います。
- ・簡潔で柔らかい感じの表現がよいと思います
- ・現行の「将来像」の安全・健幸・子ども・自然と調和・都市格を鑑み、基本理念のテーマをアピールするなら、具体的な言葉が入るとよいと考える。
- ・西部鉄道 CM で”しっかりした地盤”とか、病院外通り名のほど医療施設があるとか、看護・福祉・薬学系の大学があるとか から「安全」（防災面から）「安心」（医療面から）、みどりや自然は使っているケースが多いので、空気がきれいという市民の声をきくことがあるので、あまり見かけない「空」を入れるのはどうか。
- ・人と人が寄り添い助け合える町
- ・「共に」「協働」「繋がる」を加えたいので、例えば **みどりの中に 子どもの笑顔 あなたと繋がる きよせの未来**
- ・清瀬らしさを重要視、清瀬の強みを活かして向上できるものが良いと思う。
- ・しあわせ未来センターや、「しあわせはここにある」といったキャッチフレーズなどと統一感を持たせた基本理念にした方が良いと思う。
- ・清瀬市に限らず、全国的に人口減少や労働者不足が課題となり、今後も大幅な改善は見込まれないと考えます。【清瀬に住みたい】や【清瀬で起業したい】という選択肢の一つになる基本理念であることを願います。
- ・どの自治体でも当てはまるようなものではなく、清瀬らしいものにしたい。
- ・明るく未来が感じられるもの 安心して生活が営まれることがアピールできること 子育てが安心できる環境がアピールできること
- ・現行から無理に変える必要は無いように思う。
- ・清瀬らしさと人が街を作るということが、短い言葉でわかりやすく表現されているのが良いと思いますので、現行の文言で良いと思います。
- ・明るい未来を想像できるようなワードが含まれた基本理念が良いと思います。
- ・清瀬らしい「自然」の単語を入れるのがよいと感じた。特に「ひまわり」という単語からは「明るい」「輝く」といった力強い印象がある。
- ・昔からの良いところを大切に守りながら、新たな魅力を増やしていく。
- ・人口が増加し、住環境等が向上している昭和55年と現代では価値観が異なるため、清瀬

市民憲章をベースに作られたもの以外が良いと思います。

・どこの自治体でも当てはまるテンプレートの様な言葉よりも、力強く導くようなスローガンが良いと個人的に思います。

・清瀬の自然の豊かさは住民にとっての癒しであり、市にとっての強みであると思うので、一言、自然に関するフレーズを入れたらいいのではと思います。

・未来が明るくなるものや希望が持てる将来像が良いと思います。

・強いメッセージはあまり合わないと思います。

・どの年代にも親しまれるようなものが良い。優しさのあるものもいい。

・どのような基本理念を掲げようとも、その理念に添った計画を実行できるのが重要だと思います。

・清瀬市市民憲章を改めて読みまして、具体的で素晴らしいと思いました。抽象的な言葉は、柔らかく万人受けするが、印象には残りにくいと思います。分かりやすく、少しストレートなものが良いのではないかと思います。

・清瀬市に関わる全ての者(人、団体等)が、人任せにせず、自ら考え、行動し、次代を思い、清瀬市を大切に作る姿が自分が考えるまちづくりの理念に近い。

・清瀬市に住んでいて良かったと思える言葉が必要であり、何よりも行動が必要と考える。

・"誰もがイメージしやすく、わかりやすいものが良いと思う

・清瀬らしさを残してほしい"

・○複数の基本理念を列記するようなものは美しくないなので、一文に絞った方がいいと思う。○七五調に近づけることで、日本語に内在するリズム感を活かせると思う(現行の基本理念は五・七・七)。

・語呂を良くして聞き心地のいいものにした方がいいと思う。

・「強み」といったワードは、見た人の興味を引きやすいように感じる。興味を引くということは市民への周知に大きく関係すると思うので、現在のような明るいニュアンスと兼ね備えたフレーズがあればよいと思う。

・基本理念は長くなりすぎず、テンポの良いフレーズが、覚えてもらいやすいと思う。(現行の「手をつなぎ～」はそういった意味でとても浸透しやすかったのではないかと考える。)

・平易な表現が良いと思う

・未来というワードを入れたい"

・他自治体でも共通していえる内容だけでなく、清瀬ならではの理念を主軸に置くことで市民・行政ともに一層「自分事」として意識ができる余地がある。

・みどりに代表される自然環境は、本市にとって大切な財産であり、貴重な財産であることは十分に理解できます。しかし、今後は新たなものを創り出し未来に継承することも必要であると考えます。

・明るい未来がみえるようなもの、清瀬市を表現できるものがよいと思います。

・これからの計画は2025年問題の次に大きな2040年問題など、人口動態に大きく左右される課題が山積しているので課題をプラスにとらえ、具体的な例が出せず申し訳ないですが清瀬らしく明るい印象の基本理念が良いと思います。

・清瀬市、というと“緑”というイメージがあり、川が流れ、自然豊かな風景が思い浮かびま

す。

・明るい未来が想像できるような基本理念がいいと思います。

色々な候補を繋ぎ合わせて、「**しあわせはここにある 笑顔と希望があふれる緑のまち 清瀬**」とか…。

・市民のしあわせの追求こそが究極の目的であり、あらゆる施策はこれに資するものであると考える。

・自然豊かな清瀬においては、みどりを守るというのは非常に重要なテーマであるが、これはあくまで市民のしあわせを追求するための施策のひとつにすぎない。したがって、みどりを守ることで自体が目的になっているような印象を感じさせてしまう可能性のある文言は、可能な限り避けるべきではないだろうか。

・みどり・自然といった単語を盛り込むことで自体に反対の意図はなく、例えば「みどり豊かな清瀬で ○○～」といった文言なら、先述のリスクは避けられると思う。そのうえで、市民のしあわせを追求していくぞという決意がダイレクトに伝わるよう、質問2⑦のような直球的な表現を盛り込めば、わかりやすくポジティブな基本理念になると考える。

・やや稚拙であるが「**ともにつくる きよせのしあわせ**」くらいのシンプルさでも良いかもしれない。"

・市民の方にも浸透しやすい方がいいので、覚えやすい(語感がいい、リズム感があるなど)ものがあると思う

・緑と子供というセンテンスを入れて欲しい

・「清瀬」というワードが入り、ポジティブで覚えやすく言ってみたくなるような、親しみやすいワードの組み立てがいいと思います。

・基本理念は、清瀬市の方向性を示すものであり、そこから波及して具体的な政策・施策・事業を展開しやすいものにするべきだと考えます。言葉のリズムや肌ざわりばかり意識しすぎると、漠然として何のために制定するのか目的がわからなくなる恐れがあります。誰が見てもそこから未来が想像できるような基本理念が求められると思料します。

・「**笑顔と心を繋ぐ清瀬**」

・清瀬の人の温かさを感じられる、市内に住んでいる方や(仕事や一時利用などで)利用する方にも明確に感じていただけるものを考えてみました。

・「自然(緑)」など清瀬らしさのある単語または「市民と共に」など協働するイメージのある言葉があるとよいと思います。

・未来に希望が持てて、我々職員もどう進んでいくのか、明確にわかりやすいものがあると思う。

・「しあわせはここにある」というワードを入れ、ひらがなで「しあわせ」と示すことで、柔らかさをイメージしやすくなり、小さなお子さんにも理解しやすくなると思った。

・のんびりした風土が伝わるものがあると思う。

・自然を生かす綺麗で清潔

・清瀬市が、明るく、みどり豊かで、(病院なども多く)福祉が充実していて、子どもからお年寄りまで生活しやすい、やさしいまちであることを、アピールできると良いと思います。

・「清瀬」「きよせ」というワードを入れつつ、市や市民が能動的に清瀬市を創っていく印象

のものが良い。

・基本理念は市の最上位計画であるのであれば、自治体間競争の中で清瀬市を選んでもらうための差別化が必要と思います。そのためには、能動的な理念が良いと感じたためです。"

・理念をどの段階で決めるのかということは計画作成のプロセスと大きく関わると思います。私の不見識で現在の進捗を把握していませんが、目指すべき将来像を積み上げた上でそれをもとに基本理念を決めるのもひとつの方法かと思います。

・清瀬らしさを重要視したい